



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 20 年 2 月 8 日

上場会社名 **株式会社ヴァリック**

コード番号 2387

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）栗田 宏

問合せ先責任者（役職名）常務取締役管理本部長（氏名）菅谷信一 TEL (045)590 - 4888（代表）

上場取引所 JASDAQ

URL <http://www.valic.co.jp/>

（百万円未満切捨て）

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の業績（平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	14,760	15.7	978	21.0	980	24.4	460	26.5
19 年 3 月期第 3 四半期	12,758	42.8	808	18.8	788	17.9	363	22.8
(参考) 19 年 3 月期	17,403	-	1,302	-	1,284	-	453	-

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	9,634	27	-	-
19 年 3 月期第 3 四半期	15,231	22	-	-
(参考) 19 年 3 月期	18,989	04	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20 年 3 月期第 3 四半期	16,141		2,808		16.9	57,043	99	
19 年 3 月期第 3 四半期	14,437		2,249		15.4	93,061	73	
(参考) 19 年 3 月期	14,296		2,352		16.2	96,820	07	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20 年 3 月期第 3 四半期	776		1,947		1,228		2,907	
19 年 3 月期第 3 四半期	350		1,497		1,482		2,735	
(参考) 19 年 3 月期	1,448		1,897		898		2,850	

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金	
	(基準日)	
	第 3 四半期末	
	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期		
19 年 3 月期第 3 四半期		

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想（平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日）【参考】

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	20,100	15.5	1,600	22.8	1,540	19.8	600	32.2	12,554	40

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有・無

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無： 有・無

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。〕

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

[将来に関する記述等についてのご注意]

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[発行済株式数(普通株式)について]

2. 平成19年3月31日現在の株主に対し平成19年4月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

期末発行済株式数(自己株式を含む)

20年3月期第3四半期	47,792株	19年3月期第3四半期	23,896株
-------------	---------	-------------	---------

期末自己株式数

20年3月期第3四半期	株	19年3月期第3四半期	株
-------------	---	-------------	---

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、住宅投資が減少し、サブプライムローンに端を発した国際金融資本市場を巡る不確実性やエネルギー・原材料価格高の影響により、先行きの不透明感を増してまいりました。

こうした環境のもと当社は、「安心・安全・健全」を基本方針として店舗運営を行ってまいりました。営業活動においては、カラオケルーム運営事業の売上が第3四半期において高くなるという事業特性から、忘年会等宴会需要への対応、店舗の美化維持、接客力向上及び既存サービスの磨き上げに注力いたしました。

また、質の高い安定的な成長基盤の確立に向け、カラオケルーム運営事業9店舗、複合カフェ運営事業15店舗、計24店舗（前年同期比2店舗減）の新規出店を実施した結果、11月末にはカラオケルーム運営事業、複合カフェ運営事業とも100店舗を超え、総店舗数200店舗体制となりました。さらに、全面改装を含む48店舗のリニューアルと既存店活性化のための積極的な設備投資を実施いたしました。

これらの結果、当第3四半期の業績は、売上高14,760百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益978百万円（同21.0%増）、経常利益980百万円（同24.4%増）、四半期純利益460百万円（同26.5%増）と増収増益となりました。

〔セグメント別の業績動向〕

（カラオケルーム運営事業）

当第3四半期におきましては、各種法令及び条例を遵守した「安心・安全・健全」な店舗運営を実施し、既存店売上高前年同期比は2.4%増となりました。

平成19年10月から12月までの営業面においては、年末の忘年会需要の取り込みが寄与し、当社のコア・ターゲットであります30代以上の社会人、ファミリー、シニア各客層の利用が増加しました。商品面では、10月のグランドメニュー改廃、宴会プランやシーズンメニューの投入により飲食売上高が引き続き好調に推移いたしました。その結果、客数及び客単価ともに前年を上回り、既存店売上高前年同期比は3.4%増となりました。また、新規出店にかかる費用および一部店舗において既存店活性化のためのリニューアル費用等が増加いたしました。

当第3四半期末店舗数は、新規出店9店舗（前年同期比7店舗増）を行い101店舗（前事業年度末比9店舗増）となりました。

以上の結果、当第3四半期の実績は、売上高8,419百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益750百万円（同14.8%減）となり、売上高、営業利益ともに計画を上回りました。

（複合カフェ運営事業）

当第3四半期におきましては、顧客満足度を向上させるべく設備やコンテンツ等既存サービスの磨き上げに注力し、既存店売上高前年同期比は3.8%増となりました。

平成19年10月から12月までの営業面においては、商圏内顧客囲い込みのためのドミナント出店により自社既存店舗との商圏バッティングが一部店舗において見られたほか、リニューアルにともなう閉店により客数が減少しました。商品面では、10月のグランドメニュー改廃によりフード売上が好調に推移いたしました。その結果、客数は減少したものの客単価でカバーし、既存店売上高前年同期比は0.8%減にとどまりました。また、一部店舗において既存店活性化のためのリニューアル費用等が増加いたしました。

当第3四半期末店舗数は、新規出店15店舗（前年同期比9店舗減）を行い103店舗（複合カフェ100店舗、フィットネス・スパ3店舗）（前事業年度末比14店舗増）となりました。

以上の結果、当第3四半期の実績は、売上高6,340百万円（前年同期比27.8%増）、営業利益227百万円（前年同期比300百万円増）となり、売上高、営業利益ともに増収増益となりました。

なお、このうち新規出店15店舗の実績は、売上高413百万円、営業損失246百万円であり、既存店及び2年目店の実績は、売上高5,927百万円、営業利益473百万円となっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は16,141百万円となり、前事業年度末比1,844百万円の増加となりました。これは主に、24店舗の新規出店および4店舗の全面改装等に伴う固定資産増加等によるものであります。なお、純資産は2,808百万円となり、自己資本比率は前事業年度末比0.7ポイント改善いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、2,907百万円となり、前事業年度末比57百万円の増加となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、776百万円(前年同期比121.1%増)となりました。

その主な内訳は税引前四半期純利益899百万円、減価償却費666百万円、法人税等の支払553百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,947百万円(前年同期比30.0%増)となりました。

これは主に、24店舗の新規出店および4店舗の全面改装等に伴う有形固定資産の取得1,659百万円、敷金及び保証金の増加による支出307百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,228百万円(前年同期比17.1%減)となりました。

これは主に、長期借入3,200百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1,923百万円があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績につきましては概ね堅調に推移しておりますので、平成19年10月25日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算 税金費用については、当事業年度の見積実効税率を用いて計算しております。

(2) 最近会計年度からの会計処理の方法の変更

退職給付引当金 業容の拡大に伴い、当事業年度末における従業員数が300人を超える見込みのため、当事業年度より退職給付債務の算定方法を簡便法から原則法に変更しております。

5.(要約)四半期財務諸表

(1)(要約)四半期貸借対照表

(単位:百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	2,735	2,907	172	6.3	2,850
売掛金	46	62	15	33.8	33
たな卸資産	155	199	44	28.6	107
その他	837	1,016	179	21.4	664
流動資産合計	3,774	4,186	411	10.9	3,656
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	7,580	8,369	788	10.4	7,445
その他	452	588	135	30.0	445
有形固定資産合計	8,033	8,957	924	11.5	7,891
無形固定資産	35	28	6	19.1	34
投資その他の資産					
投資有価証券	50	50	0	0.0	50
敷金及び保証金	1,878	2,242	363	19.3	1,986
その他	675	681	6	0.9	695
貸倒引当金	10	5	5	50.0	17
投資その他の資産合計	2,594	2,968	374	14.4	2,714
固定資産合計	10,662	11,955	1,292	12.1	10,639
資産合計	14,437	16,141	1,703	11.8	14,296

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
買掛金	282	329	46	16.6	216
一年内返済予定の 長期借入金	2,507	2,941	433	17.3	2,414
一年内返済予定の 社債		700	700		
賞与引当金	59	72	12	21.7	132
役員賞与引当金	13	14	0	5.4	26
その他	933	1,234	301	32.4	1,192
流動負債合計	3,796	5,293	1,496	39.4	3,983
固定負債					
社債	700		700		700
長期借入金	7,557	7,815	258	3.4	7,066
退職給付引当金	32	92	60	185.5	36
役員退職慰労引当金	36	50	13	36.9	39
その他	66	82	16	24.3	117
固定負債合計	8,392	8,040	351	4.2	7,960
負債合計	12,188	13,333	1,144	9.4	11,943
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	483	483			483
資本剰余金	405	405			405
利益剰余金	1,334	1,836	502	37.7	1,424
株主資本合計	2,223	2,726	502	22.6	2,313
評価・換算差額等					
その他有価証券評 価差額金	0	0	0	10.1	0
評価・換算差額等合計	0	0	0	10.1	0
新株予約権	25	81	56	223.2	39
純資産合計	2,249	2,808	559	24.9	2,352
負債及び純資産合計	14,437	16,141	1,703	11.8	14,296

(2) (要約)四半期損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	12,758	14,760	2,001	15.7	17,403
売上原価	10,697	12,345	1,647	15.4	14,444
売上総利益	2,061	2,414	353	17.2	2,959
販売費及び一般管理費	1,252	1,436	183	14.7	1,656
営業利益	808	978	169	21.0	1,302
営業外収益	68	100	31	45.9	104
営業外費用	89	98	9	10.4	122
経常利益	788	980	192	24.4	1,284
特別利益	2	12	9	335.1	7
特別損失	68	92	23	34.9	308
税引前四半期(当期)純利益	722	899	177	24.6	984
税金費用	358	439	81	22.6	530
四半期(当期)純利益	363	460	96	26.5	453

(3) (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	(参考)前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	722	899	984
減価償却費	635	666	865
減損損失			227
その他	1	149	396
小 計	1,359	1,417	2,474
利息及び配当の受取額	0	2	1
利息の支払額	81	90	99
法人税等の支払額	927	553	927
営業活動によるキャッシュ・フロー	350	776	1,448
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産取得による支出	1,258	1,659	1,559
敷金及び保証金の増加による支出	237	307	336
長期前払費用の増加による支出	3	28	3
その他	1	48	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,497	1,947	1,897
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の借入による収入	3,000	3,200	3,000
長期借入金の返済による支出	1,469	1,923	2,053
配当金の支払額	47	47	47
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,482	1,228	898
現金及び現金同等物の増加額	335	57	450
現金及び現金同等物の期首残高	2,399	2,850	2,399
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	2,735	2,907	2,850

6. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

(単位:百万円)

	カラオケルーム 運営事業	複合カフェ運営事業	計
売上高	8,419	6,340	14,760
営業費用	7,668	6,112	13,781
営業利益	750	227	978

前年同四半期

(単位:百万円)

	カラオケルーム 運営事業	複合カフェ運営事業	計
売上高	7,796	4,962	12,758
営業費用	6,915	5,035	11,950
営業利益	881	72	808

[事業部門別販売実績]

(単位:百万円)

区 分	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)			前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)			(参考) 平成19年3月期		
	店舗数 (店)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	店舗数 (店)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	店舗数 (店)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
カラオケルーム運営事業	101	8,419	57.0	90	7,796	61.1	92	10,536	60.5
カラオケルーム売上		4,495	30.4		4,135	32.4		5,594	32.1
飲食売上		3,818	25.9		3,564	27.9		4,810	27.6
その他売上(注)4		105	0.7		96	0.8		131	0.8
複合カフェ運営事業	103	6,340	43.0	87	4,962	38.9	89	6,866	39.5
複合カフェ売上		5,990	40.6		4,669	36.6		6,452	37.1
その他売上(注)5		349	2.4		292	2.3		414	2.4
合 計	204	14,760	100.0	177	12,758	100.0	181	17,403	100.0

(注) 1. 当四半期及び前年同四半期の売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、合計に占める構成比を示しております。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. その他売上の主なものは、入会金売上、ゲーム機利用料であります。

5. その他売上の主なものは、快活フィットネスCLUB及び快活スパCLUBに係る売上であります。